

1 第19回論述解答例とその解説

2 [問い1] 事例ⅠとⅡはキャリアコンサルタントの対応の違いにより展開が変わっている。事
3 例ⅠとⅡの違いを 下記の5つの語句(指定語句)を使用して解答欄に記述せよ(同じ語句を
4 何度使用しても可。また語句の使用順は自由。解答用紙に記述する際には、使用した指定語
5 句の下に必ずアンダーラインを引くこと)。(15点)(6行)

6 指定語句5つ 経験 誘導 共感 決めつけ 自己探索

7
8 事例1ではCCは、仕入れ部門の担当の打診で迷っているCLの気持ちに共感することなく、
9 CCt10「憧れのようなものを感じるの」や「仕事には能力や知識も必要ですね」や CCt11
10 「いま置かれている状況をしっかり把握されて判断されてはどうですか。」と誘導や決めつけ
11 の対応のためCLの自己探索が進んでいない。

12 一方事例2では CCt7 でご主とのやり取りを聴くことで「しっくりこない」や「我慢」や「悲しく
13 なる」とCLの気持ちが表れ、ピザ屋さんに感動したことを改めて思い出した経験を再現する
14 ことができ CL12 「何を我慢? う～ん」と自己探索に繋がり、「可能性に蓋」とCLに新たな
15 気づきが表れた展開となっている。

16 テンプレ・テクニカル・解答者の気づき、センス。

17 根拠だし・逐語録からの引用・要約(テンプレ的ではない事例に沿った解答)

18 CLの状態違い。これが事例1と事例Ⅱの展開の違い。〇〇の展開となっている。→客観的記
19 載
20 載

21 15点 6行

事例Ⅰと事例Ⅱの客観的に対比文を書く。

15点 5行

CLの問題点は最低3つ。

推論根拠を問題文の事例に沿った具体的記述が求められている

10点 6行

今後の展開。問3で記述した内容を踏襲して記述する。

一行目は逐語録の最後 CL12 からの記述が書きやすい。

また関係構築、傾聴などの基本的態度を記入。

最後の締め、最終文は相談者が〇〇できるように支援する。